

令和 6 年度 事業報告

令和 6 年度は、長引いた新型コロナウイルス感染症による影響は少なくなり、社会環境もコロナ感染拡大前の状況に戻りつつあった。

協議会の事業においては、引き続きコロナ感染対策を考慮しながら品位鑑定研修会等の主な行事を当初計画どおり実施した。

また、全農秋田県本部との共催による「秋田県 J A 農産物検査員米穀鑑定競技会」を開催し、J A グループ全国農産物鑑定会へ 3 名派遣した。

協議会では、14 登録検査機関の農産物検査員 482 名(令和 6 年 4 月 1 日現在、前年同期比 1 名減)に対して、昨年までに引き続き、検査程度の統一ならびに検査技術の維持・向上を図るため、以下の各種研修会を開催した。

「農産物検査員取得 1 ～ 3 年生品位鑑定研修会」及び全ての農産物検査員を対象とした「農産物検査員品位鑑定研修会」については、新型コロナウイルスへの感染対策を引き続き考慮しながら、各地区別に複数回開催し、等級判定や品位の分析等の実務、農産物検査法に係る研修を行い、検査技術の維持・向上に努めた。

検査開始前には、登録検査機関や検査員間の鑑定眼の程度統一を図るため、各登録検査機関の指導的検査員の協力により令和 6 年産米穀「検査見本品」を作製し、登録検査機関を通じて検査員に配布した。また、「主要農作物種子(水稻・大豆)検査員研修会」を開催し、種子検査を実施する検査員の技術向上に努めた。

検査終了後に行っている「農産物検査品(米穀・大豆)確認研修会」は、各登録検査機関からの要望等を受け、昨年に引き続き各鑑定研修会同様に各地区別に、鑑定研修および農産物検査法等に係る研修を実施し、農産物検査結果を再確認するとともに今後の検査に自信をもった対応ができるよう努めた。

「農産物検査員育成研修」では、受講した 12 登録検査機関の 33 名全員が基礎課程の履修試験に合格し、うち現場実習課程を修了した 32 名(内 2 名種類追加)が新たに農産物検査員名簿へ登載された。

主 な 行 事

	行 事 名	場 所
(令和6年)		
4月 8日	第1回農産物検査員取得1～3年生品位鑑定研修会 (～10日)	空港周辺ふれあい 緑地ほか2会場
23日	第2回農産物検査員取得1～3年生品位鑑定研修会 (～25日)	空港周辺ふれあい 緑地ほか2会場
24日	令和5年度決算監査	秋田県JAビル
5月14日	「農産物検査員育成研修会」指導者会議・研修会	秋田県JAビル
20日	第3回農産物検査員取得1～3年生品位鑑定研修会 (～22日)	空港周辺ふれあい 緑地ほか2会場
29日	農産物検査員育成研修会(～7月2日) ① 基礎課程(講義) 3日間 ② 〃 (実習) 11日間 ③ 履修試験 1日	秋田県農業試験場
6月28日	第24回JA農産物検査協議会通常総会 ① 令和5年度事業報告及び収支決算書 ② 令和6年度事業計画及び収支予算書 ③ 令和6年度会費・分担金の賦課額および徴収時期・徴収方法について	秋田県JAビル
7月 1日	第1回農産物検査員品位鑑定研修会(～7月19日)	空港周辺ふれあい 緑地ほか8会場
22日	第2回農産物検査員品位鑑定研修会(～8月2日)	空港周辺ふれあい 緑地ほか8会場
8月22日	主要農作物種子(水稻・大豆)検査員研修会	秋田県JAビル
23日	秋田県JA農産物検査員米穀鑑定競技会	秋田県JAビル
28日	第3回農産物検査員品位鑑定研修会(～9月3日)	空港周辺ふれあい 緑地ほか3会場
9月 9日	農産物検査員指導者研修会(～10日)	秋田県JAビル
(令和7年)		
1月29日	農産物検査品確認研修会(～2月17日)	空港周辺ふれあい 緑地ほか8会場

研修会実施内容（令和6年度）

1. 農産物検査員取得1～3年生品位鑑定研修会

研修内容：うるち玄米……等級判定1等～3等 試料数30点
（品種判定・整粒歩合 各5点含む）
もち玄米……等級判定1等～3等 試料数5点
大豆……等級判定1等～合格 試料数5点

2. 農産物検査員育成研修会

実施日：令和6年5月29日～6月27日（講義3日間、実習11日間）
令和6年7月2日：履修試験
場所：秋田県農業試験場 講堂
研修内容：（1）農産物検査関連法令等（講義）
（2）分析、鑑定実習等（実習）
受講者：33名（内2名種類追加）

3. 農産物検査員品位鑑定研修会

研修内容：玄米……等級判定1等～3等 試料数30点
（品種判定・整粒歩合 各5点含む）
大豆……等級判定1等～規格外 試料数5点
（参考試料：採点の対象外）
もち……等級判定1等～3等 試料数5点

4. 秋田県JA農産物検査員米穀鑑定競技会

実施日：令和6年8月23日
実施場所：秋田県JAビル
競技内容：玄米等級判定1等～3等（品種判定・整粒歩合）
競技試料：うるち玄米試料数30点、もち玄米試料数5点
参加者：60名

5. 主要農作物種子検査員研修会

実施日：令和6年8月22日
実施場所：秋田県JAビル
分析試料（数）：（水稻）3点（あきたこまち、めんこいな、ゆめおぼこ）
（大豆）3点（リュウホウ）
研修内容：（1）種子の品質確保について
（2）被害粒等の限界基準の確認について
（3）鑑定（分析）研修
出席者：29名

6. JA農産物検査員指導者研修会

実施日：令和6年9月9日～10日
実施場所：秋田県JAビル
研修内容等：令和6年産米を原料とし、うるち米の1・2等の基準を確認できるよう、分析・調整をおこない検査見本品を作成し、鑑定の統一を図った。
見本品配付：各機関から必要数の取りまとめを行い配布した。

あきたこまち玄米（1等・2等、各約20g）
出席者：12名

7. 農産物検査品（米穀・大豆）確認研修会

新型コロナウイルスの感染リスクを考慮し、地区別の集合形式での開催とした。
なお、鑑定研修については採点を行わず、格付誤りの再確認を重点的に実施した。

研修内容：うるち玄米…等級判定1等～3等・規格外	試料数25点
もち玄米…等級判定1等～3等	試料数5点
大豆…等級判定1等～3等・合格・規格外	試料数5点